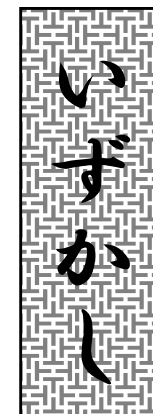


「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり



いずかし



R7年12月19日

文責：校長

修学旅行

平和のバトンを受け継ぐ

12月も半ばを過ぎ、一段と寒くなったところで体調を崩して欠席する児童が少し増えてきました。二学期の残り少ない日を体調を崩さずに頑張つてほしいと思います。

さて、11日から二日間、6年生が修学旅行に行きました。一日目の平和学習では、被爆二世の語り部である佐藤さんのお話を聞きました。父早苗さん（享年86歳）が12歳の時被爆され、きょうだい5人を次々に亡くされた悲しい体験を、亡くなられた父に代わって詳細に伝えていただきました。子供たちには、平和のために、自分でできることを考え行動してほしいと、静かな口調でしたが、力強い表情で訴えかけられました。子供たちは、実際に現地で学ぶことで平和を守り続けていく気持ちを新たにしようでした。その後のフィールドワークでもガイドさんの話をしっかり聴きながら現地を巡りました。

二日目はハウステンボスでの班活動です。園内に入り諸注意



平和祈念像の前で記念撮影

を聞くと、すぐに班ごとにアトラクションに向かっていきました。金曜日で入園者が多かったので、人気のアトラクションは待ち時間が長く、予定通りには回れなかったようでした。それでも、食事は班ごとにレストランを選び、みんな楽しそうに昼食をとり楽しい思い出を作ったようでした。保護者の皆様には事前の体調管理から道具の準備等、たくさんお世話になりました。ありがとうございます。

今月は人権月間

本校では、12月を自分たちの生活を見つめ直し、人権について考える機会として「人権月間」を設定し、取組を進めています。主な取組は次の通りです。

①自分と重ねて考える

人権学習教材（なかま、みつめる、きずな）を使って、人権に関する自分の考えをまとめる。

②植柳小学校人権宣言

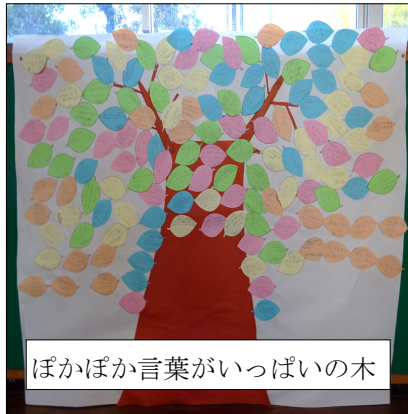
代表委員会で、今年度の人権宣言を決める。

③人権集会

23日（火）に全校集会を開き、低・中・高学年代表児童による作文発表と人権啓発動画視聴と振り返りを行う。

④「ふわふわ言葉」の木

友だちよ良いところや頑張っているところや、友だちに伝えたい「ありがとう」の気持ちを葉のカードに書き込み、貼り付ける。



ぽかぽか言葉がいっぱいの木

この4つの取組を進めています。私たちの身の回りには様々な差別事象があります。差別を差別だと気づく力や、差別に負けない力、差別解消に向けて闘う行動力を身につけるには、まず今の自分たちの生活を見つめ直し、学習を積み重ねる必要があります。学校では子供たち同

士が仲よく遊ぶ姿が多く見られますが、時々、大丈夫かなという言葉のやりとりがあります。特に友達同士呼び捨て、オイ！や、お前！、〇ね！、〇ろすぞ！は気になっているところです。この期間に自分たちの言動を振り返り、皆が安心して生活できる学校にしたいと思います。

快走！ペースランニング

12月18日（木）に絶好のランニング日和の中、全校児童でペースランニング走と浅野旗、桑田杯のタイムチャレンジ走を行いました。

普段のペースランニングの授業も時々見ていましたが、子供たちはそれぞれに自分のペースを保ちながら楽しく走る姿が見られました。

学校体育が目指しているものは、体力の低下に一定の歯止めがなかった状態である昨今、自分の課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための力を身に付けることです。ペースランニングの学習では、自分のペースと運動強度について考え、次の学習の目当てを立てる過程がとても楽しかったようでした。「体を動かすって、なんか楽しい！」という気持ちを持つことは大切だと思います。



走り終わった6年生の清々しい笑顔

一位	福田理人	5分20秒
二位	西垣晴透	5分34秒
三位	木村怜斗	5分46秒

【桑田杯】

一位	丸塚陽叶	2分51秒
二位	木下湊人	2分51秒
三位	堀慎平	3分2秒

浅野旗、桑田杯の両レースでは、全校児童や保護者、地域の方などたくさんの方の応援に後押しされながら自己記録更新に向けて果敢に走りました。ご声援ありがとうございました。

結果は次の通りです。